

自治体による地元中小企業の国際化支援 ～大田区産業振興協会の METALEX2012 出展～

シンガポール事務所

「METALEX」は ASEAN で最大の工作機械および金属加工技術の展示会で、今年で 26 回目の開催となります。この度、クレア・シンガポール事務所では、活動支援のため METALEX2012 に参加する機会を得ましたので、報告します。

●METALEX 2012 概要

会期	2012 年 11 月 21 日 (水) ～24 日 (土)
会場	タイ・バンコク国際展示場 (BITEC)
主催	Reed Tradex
来場者数	約 66,000 人 (見込)
出展団体数	約 2,700 団体
大田区ブース出展企業	5 社
日本からの出展自治体	大田区 (公益財団法人大田区産業振興協会) 品川区・新潟県燕市 長野県 (公益財団法人長野県中小企業振興センター) 岡山県 (公益財団法人岡山県産業振興財団)
参加国	約 50 カ国
ナショナルパビリオン (8 カ国)	日本・イギリス・韓国・シンガポール・台湾・中国・ドイツ・ロシア

●会場内で存在感を増す日本

METALEX が開催される BITEC 国際展示場は、37,000 m²にも及び広い展示場ですが、この会場の至るところで日本企業のブースを見かけました。ジャパンパビリオン、JETRO パビリオン、品川区、大田区ブースなどの他、個別の企業の出展も見られ、出展企業全体に占める日系企業の割合はかなり高いものと思われます。また、来場者の中でも日本人のグループは目立っていました。成長を続ける ASEAN 各国の内需取り込みを目指す企業の進出が再加速していることもあり、METALEX は、東南アジア特にタイでの販路拡大を目指す日本の中小企業にとって、非常に重要な展示会であるといえます。

●自治体の出展と METALEX

大田区産業振興協会は区内企業と 2002 年以来連続出展しており、今年で 11 回目となります。日本の自治体としては、かなり古くから継続して出展していたため、主催者側か

からも重要な団体として取り扱われています。このことを示すように、オープニングセレモニーではプラサート・ブンチャイスックタイ工業相をはじめとする世界各地から集まった様々な業界代表者らとともに、大田区産業振興協会の代表者がテープカットに参加しました。毎年出展しているため、大田区のブースを目指して訪れる企業関係者も多く、「大田区」というブランドが定着していることが感じられました。

今年から単独でブース出展していた品川区は今年で 4 回目の出展、JETRO パビリオンに出展していた長野県は 3 回目、岡山県は 2 回目の出展だとのことです。



【大田区ブース】



【オープニングセレモニーの様子】

●大田区・タイ中小企業のビジネス交流会

「METALEX2012」2 日目の 11 月 22 日には、大田区産業振興協会、タイ投資委員会、アマタ・サミット・レディビルド社共催でビジネス交流会が開催されました。交流会に先立って開催された商談会では、事前に各企業の事業内容、製品等を調査の上、タイ投資委員会との連携により事前マッチングされた企業同士が商談に臨みました。大田区からは 14 社、タイからは 23 社が参加し、非常に熱心な商談が行われていました。

●オオタ・テクノパーク視察

交流会参加者のうち、希望者を募り、オオタ・テクノパーク視察も実施されました。オオタ・テクノパークは「タイにサポーティングインダストリー基地大田区村を」というコンセプトのもと、タイで最大の工業団地運営会社である「アマタコーポレーション PCL 社」が全額出資し、2006 年に開設されました。現在は、大田区の企業を中心に 8 社が入居しています。近年、入居を希望する企業が非常に多いとのことです、現在のところ空きがない状況とのことです。



オオタ・テクノパーク外観

(新山所長補佐 東京都大田区派遣)